

# 今ならまだ間に合う! 10年後の武蔵野を救う「文殊の知恵」

- 1 世界に発信できる都市を目指せ!** ー文化創造都市へ(再生)リノベーション
- 2 武蔵野を愛する民間の力の大胆な導入!** ー産学民公による地域産業活性化と雇用の創出
- 3 未来に輝け! 世界にはばたけ!** ー教育都市武蔵野でグローバル人材の育成

**5つの緊急政策提言**  
その1

**「財政の見える化」で財政健全化を図る**

- ◎自治体不動産の有効活用による公共施設の再編
- ◎未利用地・低利用地の評価と「公会計制度改革」の推進
- ◎国の成長戦略に合わせてPFなどの民間の力の積極的導入
- ◎15の財政援助出資団体の統廃合の加速化
- ◎事業仕分けをスクラップ・フォー・ビルドの視点で

**20・30年先の「武蔵野ビジョン」を見据えて**

**5つの緊急政策提言**  
その2

**都市再生とインフラ整備で、都市の危機を脱出する**

- ◎「命の水」ー上水道の都一元化緊急対応
- ◎「垂れ流し下水道」の抜本的整備計画の策定
- ◎スマート化(CO2削減)による「駅周辺再開発」
- ◎商業地区耐震改修促進のための「駐輪場条例」の見直し
- ◎マンション耐震改修促進の支援事業立ち上げ

**地中・地上とのインフラ整備の一体化**

**5つの緊急政策提言**  
その3

**産業誘致・文化創造都市で、わくわくするまちを創る**

- ◎大学連携による「産学民公」市民参加条例の制定
- ◎連携拠点となる「(仮称)まちづくりセンター」の創設
- ◎女性と若者の起業支援と人材育成
- ◎「ビックデータ」を活用したコンテンツ産業の誘致
- ◎公共施設を含む再開発で、クリエイティブビジネスの発信拠点創出

**女性の視点でまちづくりを再考する**

**5つの緊急政策提言**  
その4

**本気で住みたいまちNO.1を目指す**

- ◎人口推計の見直しと子育て世代向け住宅政策の推進
- ◎学生向け賃貸住宅の斡旋と学生の地域参加促進
- ◎保育施設併設マンション建設支援
- ◎誰でもふらりと立ち寄れる「憩いの居場所」の増設
- ◎医療と福祉の連携で、安心して住み慣れた家での介護と看護の実現
- ◎障害を持った方々のための「グループホーム」の拡充

**地域コミュニティの再生・創生を育む**

**5つの緊急政策提言**  
その5

**日頃のお付き合い・災害時の助け合い**

- ◎市役所ならびに公共施設のBCP(事業継続計画)策定
- ◎マンションにおける災害時生活継続計画(MLCP)の推進
- ◎駅周辺の防災広場機能の確保と無線LAN基地局設置「Wi-Fi」導入
- ◎学校避難所・コメン等での太陽光パネル・蓄電池の設置(BEMS)
- ◎緊急輸送道路沿道建物耐震改修促進支援

**深田流武蔵野防災三原則「倒さない・潰さない・燃やさない」の実現**

**深田貴美子**  
ふかだ きみこ

もう一度「さすが武蔵野」と言わせたい。

〒180-0004 東京都武蔵野市吉祥寺本町1-26-6 コーボ矢島101  
TEL 0422-30-8556 FAX 0422-22-0292

1959年7月16日生まれ。血液型A型。港区立青山中学校→都立日比谷高等学校→東京女子大学社会学部卒→LVMH(ルイ・ヴィトン&モエ・ヘネシー)で財務担当。子育てでの為退社後、子育てサークル活動。東京女子大学大学院博士後期課程に在籍。「高度情報化・分権社会における市民活動と自治」を執筆中。武蔵野市長期計画調整計画市民会議委員、吉祥寺村立雑学大学山下タミ先生主催「さんか塾」コーディネーター。夫(熊本産)・娘(広尾産)と吉祥寺在住。市議2期目。

趣味:書道、観劇、舞踏、音楽(クラシック〜ジャズ増尾好秋)

特技:弓道2段(最近の的は不正<不作為><不公平>)

好きな言葉:一期一会

◀切り取ってお使いください。▶

2013年6月24日 発行◎深田貴美子といっぽいっぽの会  
〒180-0004 東京都武蔵野市吉祥寺本町1-26-6 コーボ矢島101号

完全無所属  
武蔵野市議会議員

**付録つき特別号**

**深田貴美子**

**《いっぽいっぽ通信》**

なんでもご相談ください! 090-8025-4457



**[特集] 決断・実行!** わが武蔵野市は「日本一裕福な自治体」と言われています。でもその実態はどのようなのでしょうか?

<p><b>課題1</b></p> <p><b>約50億円</b> の損失</p> <p>低利用地のうち、平置き駐輪場である三鷹駅北口「中町駐輪場」(中町1-18)は、平成4年前後に91億円で取得しました。平成22年コンサル評価によれば、「約50億円の評価損が発生」していると言われています。市民ひとりあたり、35,688円の損失です。</p>	<p><b>課題2</b></p> <p><b>13,000m<sup>2</sup></b> の未利用地・低利用地</p> <p>桜まつりが開催される「むさしの市民公園」(緑町2-2)の2倍にあたる土地が活用されないまま8年が過ぎました。なぜ、いつまでもバランスシート上に「取得価格で計上」されているのでしょうか。「時価評価」し、公会計に反映すべきです。</p>	<p><b>課題3</b></p> <p><b>約50億円</b> の未償還の企業債</p> <p>東京都のなかで、武蔵野市・昭島市・羽村市だけが「独自で水道事業」を運営しています。平成28年頃には、武蔵野の水道会計事業は「赤字」になる予測です。一般会計から借入れをするのでしょうか。さらに、未償還の企業債が約50億円残っています(平成24年度水道事業会計)。</p>
<p><b>課題4</b></p> <p>財団に眠る <b>約13億円</b> の基本財産</p> <p>公益法人制度改革3法に基づき、300万円で済む基本財産に対し、いまだ5~8億円の基本財産を所有する団体があります。財政規律の観点から、減資をし、他の行政需要に対応するべきです。</p>	<p><b>課題5</b></p> <p>吉祥寺駅改修にあたり <b>1億6000万円</b> の見込み違い</p> <p>吉祥寺駅南北自由通路改修工事では、国の補助金3億6600万円を平成25年度予算で見込んでいました。内定額は約2億6000万円(平成25年5月16日付国土交通事務次官通達)。一般財源で補てんをしなければなりません。ちなみに、1億円で、コメンが建ちます。後1億円追加すれば、保育所が設置できます。</p>	<p><b>課題6</b></p> <p>財政援助出資団体 <b>15団体</b></p> <p>平成17年度には11団体であった外郭団体を、現在15団体にまで増設。市の主要な事業を「指定管理制度」のもと事業を委託しています。定年を迎えた職員や部長職が役員として派遣・再任用され、事業の削減のように見えて、結果的には「大きな政府」になっています。1200の事業仕分も緊急課題。思い切った選択と集中の決断をするべきです。</p>

こうした隠れ負債や無駄を早く解消する為にも、  
**新公会計制度に合わせた<財政の見える化>が必要です。**

**[連絡先] 深田貴美子といっぽいっぽの会**  
〒180-0004 武蔵野市吉祥寺本町1-26-6 コーボ矢島101号 TEL 0422-30-8556 FAX 0422-22-0292

**www.fukadakimiko.info** 6月下旬リニューアル発信

**ご意見、ご要望を聞かせてください!** メール ☐ ippo-ippo@fukakimi.net  
または電話 090-8025-4457まで

# 命の水 — 水道事業非常事態宣言

武蔵野の水道事業は昭和27年に始まりました。当時の後藤喜八郎市長は、「水の心配のないまち」へと努力を重ねていました。都市化による多摩地区の人口増加と宅地化で、雨が地中に吸い込まれなくなることを心配し、「深井戸にたよる市営水道は、やがて水不足になやむ都市になってしまう」とも。

その改善のために、武蔵野市が、「多摩川の水は多摩の市民にも」と「北多摩水資源対策促進協議会」を立ち上げ、「多摩地域水道の都営一元化」を提案しました（「新しい武蔵野への提案」昭和41年発行）。

時代は経過して、平成9年3月および平成12年8月の2回にわたる東京都からの「水道事業の都営一元化に関する意向について」で、武蔵野市は「NO!」の回答をしました。都に頼らずに独自の「おいしい水」事業を展開。収益を管路整備、井戸補修に当てましたが、現在本管耐震整備率2.9%、27本の井戸のうち、11本しか稼働していません。浄水場もかろうじて稼働している状況です。

共に反対をしていた調布市は平成12年4月に、三鷹市は平成14年4月に、東京都との一元化を決断しました。

災害時には、市内7〜8カ所にて本管破裂、広い範囲で断水となる恐れがあります。

事務レベル担当者の協議に任せ、8年間一元化を先送りしている市の責任は重い！

市民の命と財産を守るために、都に伏してお願いをするのが、市の最高責任者の責務です。

一日も早く、一元化への交渉と調整を再開すべきです。

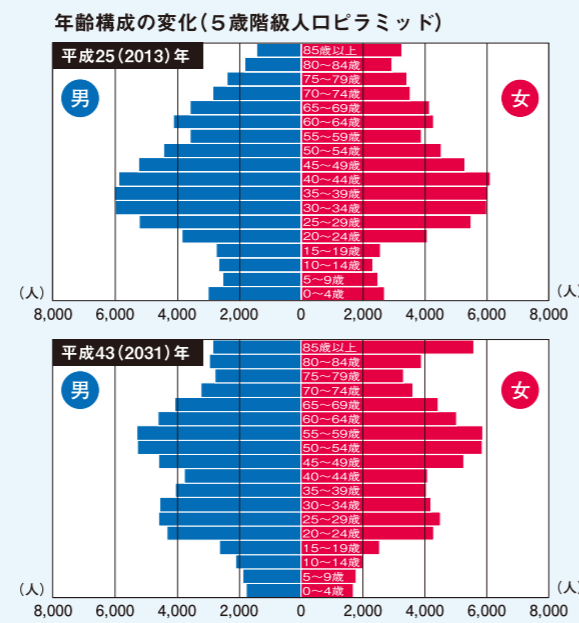
## もっと子どもたちと一緒に暮らそうよ!

江戸末期—人口2250人・世帯数429

平成25年6月1日現在—

人口140,101人・世帯数73,005

武蔵野は、「超過密都市」として日照権の問題もあって、「人口抑制政策」を貫き、30年間13万人をキープしてきました。今後の展望は、現在をピークにやはり13万人を推計しています。「武蔵野市の未来像は教育都市。理想とするは、20万都市」と「明日への街づくりのために—教育都市武蔵野市の建設」（昭和43年発行）に記されています。時代も都市も生き物。建設技術も飛躍的に進歩しました。景観を損なわず、未来と夢と希望へのかけはしとなる子どもたちの歓声が聴こえるまちを実現したいと願っています。



## みなさまに、伏してのお願い!

いつもご声援・ご支援をありがとうございます。  
みなさまの心温まる応援が、私の勇気と元気と馬力の原動力です。  
「武蔵野の明日」をみなさまと御一緒に創っていきたい。  
そんな手作り・手弁当で活動を続けています。  
ご協力いただけますみなさま、ご連絡を心よりお待ちしております。

- 看板・ポスター設置
- 通信配布 (20でも30でもありがたいです)
- 寄付のお願い  
郵便振替口座：00180-0-578586  
「深田貴美子といっぼいっぼの会」

## ご挨拶

私はこの6年間、市議会議員という大役をいただき、多くの個人や団体の方々から、ご相談やご意見をしっかりと受け止めさせていただきました。すぐに対応できたこともあれば、まだまだ時間がかかることも山積んでいます。こうした状況の中で、突き当たることは、もはや多くの事柄が、個別の対応だけでは、決して解決できないということです。その解決には、計画・条例・人事組織、そして国や都、他の自治体との密接な協力体制等根本的な見直しと改革を通じてこそ、初めて実現できるということです。

「義を見てせざるは勇無きなり」—深田貴美子、子どもたちの未来のために、「武蔵野市の根本的な見直しと改革」に向けて挑戦をまいります。みなさまのご支援ご声援を、どうぞよろしくお願い申し上げます。

## 深田貴美子サポーターズへのお誘い

リーダー：共同代表 原利子・相澤美緒  
サポーターズ(あいうえお順敬称略)：飯田太郎((株)TALO都市企画代表取締役)  
大戸美也子(武蔵野大学前副学長・名誉教授)、瀬戸恒雄(元東映プロデューサー)  
曾我部國久(島根大学名誉教授)、三橋博巳(日本不動産学会会長)  
矢澤澄子(元東京女子大学教授・国際女性の地位協会理事)

▶詳しくは表面下部のお電話、ホームページよりお問い合わせください。



▶切り取ってお使いください。▶

武蔵野市議会議員  
深田貴美子  
090-8025-4457  
ippo-ippo@fukakimi.net  
www.fukadakimiko.info

武蔵野市議会議員  
深田貴美子  
090-8025-4457  
ippo-ippo@fukakimi.net  
www.fukadakimiko.info

武蔵野市議会議員  
深田貴美子  
090-8025-4457  
ippo-ippo@fukakimi.net  
www.fukadakimiko.info

武蔵野市議会議員  
深田貴美子  
090-8025-4457  
ippo-ippo@fukakimi.net  
www.fukadakimiko.info